理　科

教 科 名	理科	科 目 名	発展生物
科目の目標	(1) 生物で学んだ体系化された知識に基づき、自然の事物・現象を分析的・総合的に考察する能力を高める。 (2) 生物や生命現象を分子レベルで論理的に論述する力を養うことで、言語活動の充実を図る。		
履修学年	3年	類型	
単 位 数	2単位	履 修 形 態	選択
教 科 書	高等学校　生物(第一学習社)	副 教 材 等	リードα　生物(数研出版) スクエア最新図説生物neo(第一学習社)

①学習の目標

(1)生命現象を物質の反応として理解し、生化学の視点から考察できるようにする。
(2)生物の各分野について、発展的な実験や観察を通して結果を分析、探究し、思考できるようにする。
(3)生物や生命現象を論理的に論述する力を養う。

②学習内容と授業の進め方

上記目標のとおり、授業中心に解説・実験を行う。各分野ごとに生徒実験を通して学習した内容を確認する。

③学習に当たっての留意点

(1)授業時間内では、演習する時間が十分に取ることができないので、家庭学習で取り組むこと。
(2)実験による確認ができない内容は、図説(資料)を効果的に活用すること。

④評価の観点

(1)関心・意欲・態度 【関】	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
(2)思考・判断 【思】	観察・実験などを通して、自然の事物・現象の中に問題を見いだし、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察し、科学的に判断する。
(3)観察・実験の技能表現 【技】	観察・実験の技能を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果を的確に表現する。
(4)知識・理解 【知】	観察・実験などを通して自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

⑤評価の方法

定期考査の結果、授業や実験に取組む姿勢・態度、実験レポートの内容などにより、総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法（観点項目を記入）
4 5 6	生命現象と物質	細胞と分子 同化と異化 DNAと遺伝情報の発現	遺伝子の分野の発展的な実験や観察を通して成果を分析、探究し、思考できる【関】【思】【技】【知】。前期中間考査、小テスト、提出レポート
7 8 9	生殖と発生	有性生殖と無性生殖 動物の発生 植物の発生	発生の領域の発展的な実験や観察を通して成果を分析、探究させ、思考力や判断力を育成する【関】【思】【技】【知】。前期末考査、小テスト、提出レポート
10 11 12	生物と環境	植物の環境応答 動物の反応と行動 生物群集と生態系	動物の反応の発展的な実験や観察を通して成果を分析、探究し、思考できる【関】【思】【技】【知】。後期中間考査、小テスト、提出レポート
1	進化と系統	進化のしくみ 生物の起源と生物界の変遷 生物の系統関係	進化や生物の起源の分野の発展的な実験や観察を通して成果を分析、探究し、思考できる【関】【思】【技】【知】。小テスト、提出レ